

# 近畿支部会報2014年11月号

いつの間にか紅葉を楽しむ頃となりました。夏の雨や御嶽山の噴火等、恐ろしい自然が地球を覆い、お亡くなりになった方のご冥福を心からお祈りします。

過日イタリアを旅しましたが、イタリアでも今夏は異常な雨だったそうです。あるホスト宅で、「地球規模で気象がおかしいとよく言われるけれど、気象がおかしいのではない。私たち人間がおかしい気象を作っている。自然の営みを崩すような生活をしてはいけない。」と言われ、その方のデザートには森で拾ったという美味しい木の实が一杯ありました。



さて、日本サーバスでは、今、電子ホストリストの作成作業が進んでいます。国際サーバスの中で電子ホストリストを発行していない国は日本だけ、又、インターネットが不可避になった現在の生活を考えると、日本サーバスも電子ホストリストは出さねばならない時期だと思えます。日本サーバスは電子ホストリストを出しても、従来通り印刷のホストリストも発行します。この作業がスムーズに進みます様に、会員皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1、例会報告	支部長	
2、トラベル報告	3時間だけの Happy Hours	堺市 H. N
	イギリスの旅	交野市 K. K
	シドニーを旅して	和泉市 A. K
3、トラベラー受け入れ報告	F & L Niederlande	和泉市 A. K
	台湾からの7人家族	東大阪市 M. T
	Big Surprise	京都市 H. T
4、会員交流北から南から	宇宙の神秘を追いかけて	奈良市 U. K
5、お知らせとお願い	支部長	

## 1、例会報告

支部長

日時：2014年10月26日(日) 場所：大津市会員 W.A様宅

出席者：本部役員1名 支部役員4名 会員3名 家族5名

会員外1名 計14名

良い天気にも恵まれて大津市郊外のWさん宅で例会を行いました。昼食やデザートは大津市会員Sさんのパン工房特製のシャバッタ・サンドやカップケーキ、また、WさんとSさんがスープやサラダ等を用意して下さい、一番盛り上がったのは食事と思う位美味しく楽しいものでした。昼食後、議案の討議とトラベル報告を終えると4時前で、せっかく石山寺や瀬田川が



近くにあるのに、散歩も出来ずの盛会でした。W様 S様 本当にありがとうございました。

## ・議案の討議

### 1、国内会議の報告

本部会報に沿って行いました。特に今編集が進められている E-HL に話題が集中しました。E-HL にはパスワードがあり、特定の人しか開けられないが、パスワードがあるから安心とは言えず、情報流出はあると覚悟した方が良いでしょう。今やサーバで E-HL を発行していないのは日本だけになっており、また、今の社会のインターネットの普及を考えると E-HL は作るべしであるが、日本サーバは E-HL が出来ても今まで通りの印刷の HL も作ることを確認しました。

### 2、東日本震災被災者支援の取り組みについて

世話役でもあり、今年も被災者を受け入れられた W さんから報告を受けました。来られたのは今年も T さん親子 3 人でした。来年度も引き続いて行おうということになりました。現地に近畿サーバの取り組みを紹介して下さっている方から、募集の工夫をアドバイスして頂きましたが、受け入れ家庭数との関係から、そんなに多くは受け入れられないので、来年度 4 月に会員に受け入れ家庭を募集して、応募者数との関係で来年度の受け入れ対象者の募集を考えて行こうということになりました。

### 今夏の保養

大津市 W. A

8 月 1 日～14 日。 事前に T さんから去年のように盛りだくさんな行事は遠慮、ただそこで暮せるだけで十分とのメールがきました。

2 日夕方 たまたま地域の納涼祭、W が役員のため、その晩はずっとその屋台で自由に食事をとってもらいました。 子どもさんたちもそれぞれにゲームや舞台演奏を楽しんでくれました。

3 日午前 市民プール。 午前中 遠来の客のため、お客さんを駅へ送ってからプールへ迎え。お腹が空いていると思い、マクドナルドでランチ。子どもさんたちには大変喜ばれました。私は大いに手抜きをしました。

4 日 W が終日留守。親子 3 人で自由に過ごしてもらいました。

6 日 三井寺の恒例「平和祈念法要」に 8 時 15 分から参加。メッセージを付けた風船を空に飛ばしたあと、紙芝居「アオギリ」（広島爆心地の被ばくアオギリをテーマにしたもの）を国宝の金堂のなかで制作者自ら読みきかせてもらいました。堂内は各地（海外も）からの平和の絵画がたくさん展示されていました。

8 日 午後から龍谷大学瀬田学舎で「夏休みこども理科実験・工作教室」に参加。3 人で消しゴム作りを楽しみました。（事前に申込み）

9 日 W 終日留守。自由に大津の町を散策の予定でしたが、台風のため市の子供プレイルームで遊んだそうです。

13 日 W からドライブを申し出て比叡山へ。久しぶりの根本中堂、西塔を訪ね、4 人それぞれに良い時間を共有できました。

それ以外の日は殆ど市民プールと田上山麓の河川敷で水遊びでした。

4 日、11 日の月曜日は S さんのベーカリーが休日、夕食にお招き頂き助かりました。特に 11 日はそうめん流しをしてくださいました。感謝です。

最終日の夜 さよなら花火をしました。

1 年間の子供さんたちの成長ぶり、遠くにいる孫を見る思いでした。

2 年目で T さんとも気心がしれて楽しい再会でした。

1年間に私の身体が老化、これは如実に体感しました。

Wさま

T. N

この度はとってお世話になり、どうもありがとうございました。あっという間の2週間、自分の実家のように毎日楽しく過ごさせて頂きました。お騒がせし、また至らないこともたくさんあり、すみませんでした。帰宅後関西は大雨に見舞われましたが、被害などございましたか??

久しぶりの我が家、家族が揃ってホッとしてはおりますが、Mがアレルギーと思われるかゆみを訴えたり、Oが鼻血を出したりと、帰宅早々から心配ごととも起きてしまっています。子供達の夏休みが終われば、少し余裕が出来ると思います。現像した写真など送らせて頂きますので、今しばらくお待ちくださいね。

心からのおもてなし、本当にありがとうございました。おじいちゃん、Rちゃんとパパ、Sさんご夫妻、サーバスの皆さま…お世話になった皆さまにもくれぐれもよろしくお伝え下さいますようお願い致します。

### 3、モンゴルの教育研修について

東アジア会議の折、モンゴルサーバス会員H sさんよりH rが、モンゴルでは障害児は義務教育の枠外に置かれているので、何とかしたいと相談を受け、今夏H rがモンゴルへ行き、また、H sさんもH r宅に来られ、夫々の国の障害児の置かれている現状について、見識を深めました。その結果、モンゴルの文部省がOKをすれば、来年モンゴルの教育関係者や障害児の親等10名ほどで研修に来日したいということになりました。まだどうなるかH sさんより聞いていませんが、実現した場合、必要に応じて支部として協力しようということになりました。

## 2、トラベル報告

### 3時間だけのHappy Hours J D Reykjavik 堺市 H. N

クルーズ船の出航時間はたいてい夕刻である。午後4:00～6:00頃スーと港を離れる。そのため、クルーズの旅では昼間チョット港近くに住んでいるホスト宅に立ち寄ることはあるが、ゆっくり共に時間を過ごすということは、ほとんどしません。がしかしこの日Reykjavikを船が離れるのは22:00であった。もっとも、日本を離れる時からこの情報はgetしていたはずなのだが、私の脳は“クルーズでサーバス活動は無理!”とインプットされていたらしい。そして、そのアホな脳がいきなり



Reykjavikに着く前日にIcelandの小さな漁村でいきなり働き出したのだ。その前日も、これは現実かと思う景色に圧倒されていて、脳がカチッと動いたのだ。

第一「こんなところに住んでいる人は一体どういう風なのだ?」

第二「そうだ! サーバスの人がいてはるんとちゃうん?」

いつものダメ元主義がここに来るまで葬られていたという事に啞然。すぐさま、Hさまさまにmailを打つ……のだが、この旅における船上の電波状況は最悪!このときだっていつも通り、彼女に届かない。Reykjavikに錨が下ろされ「もうアカンなあ……」と船を降りようとしている

その時「サーバスリスト送って来ている！」と主人の声。Oh、ありがたや、ありがたや。しかし、何故か文字化けとまではいかずとも、何が何やら分からない文字の羅列。「わからん！」ともかく電話番号らしき数字をメモした。

夕方までは、オプションのバス観光。携帯はもっていない。とにかく連絡を。途中立ち寄った土産物店で電話を借りた。いまどき公衆電話は世界中めずらしくなっている。不便！最初の番号は、ツー ツー。誰も出ない。二つ目の番号は、「はい〇〇です。」Oh、またもやありがたや、ありがたや。その人はこの時点では、名前も分からず、お勤めで夕方6：00以降ならOKという。港から歩けると言うNordic Houseで待ち合わせ。地図をみたら近そう。ある人に聞けば「すぐだよ！」また、ある人は「30分位かかるよ！」そしてある人は「歩くなんて無理、無理！」こういう時はたいてい遠い。バスで町の中心まで出て、そこから歩くことにした。雨が降って来た。100均で買ったカップをすっぽり着て歩く。しかし、これも悪くない。こういう事でも無ければ、たった1日しか居られないReykjavik、テレビ映像などでおなじみの有名どころをチャッチャッと回っておしまいだっただろうと思う。美しい広い公園を横切るのだがアヒルか、鴨か分からないけど、遊歩道でも芝生上でもあっちこっちヨチヨチ親子連れで歩いていて、とてもかわいい。彼らのウンコもいっぱいだったけどね。Nordic Houseは5：00で閉まっていた。幸い他のビルから出てきた人に電話を掛けて貰う。「あと、5分で来ると言っているよ。ここで待ってな！」

そして5分。でっかい4WDに乗ったたくましい若い女の人が現れた。彼女の家はそこからすぐ近所。ヨーロッパの典型的なテラスハウスなんだけど、レンガ作りじゃなくて今風(?)。細長い家の裏はドデンと光ふりそそぐ芝生。ここは、Iceland、24時間明るい(と思う)。夕方6時で真昼並み。雨もやんで光サンサン。外は寒かったけど、中はポカポカ。それもそのはず暖房が夏でも入っていた。私はとても冷房に弱いので日本の夏は苦しい。本気でIcelandに移住したく思った。(冬はしらんでε) 急いで用意してくれた夕食をごちそうになる。彼女は日本びいき。電話で日本人と聞いて私達と会うのをワクワクして楽しみにしていたくれたそう。抹茶があったので“茶道”を教えてください。しかし、道具が無い。仕方がないから一番かたちの似ているアワ立て器でシャカシャカやってみた。抹茶が粒々になってしまい大笑い。大きめのボールで茶器かわり。クルクルまわして二人で飲んだ。雰囲気だけでも分かってもらえたかな。日本料理の本もあった。しかし、著者はアメリカ人で日本料理もどきのレシピ。ちょっと悲しい

家のすぐそばに、Domestic Airportがある。彼女は昨年Greenlandに一日ツアーに行ったそう。一日で足りるの?」て尋ねたら、Greenlandはだいたいどこも同じ景色だから、一日でいいと言う。朝早く着いて犬ゾリしたり、エエとこへ連れて行ったりしてくれて、夜中にReykjavikに戻って来る。なんせ真夜中でも明るいもんね。「来年ゆっくりおいでよ。N達の部屋は確保しとくからね」と言ってくれた。気持が動く。来年の予定はホボもう立てているのだが、それを覚えてGreenland付きのIcelandもいいなあ。考えてみよお！

大いにしゃべり、笑って9：00頃に彼女の車で船に戻った。彼女の家から港まで遠かった。「こんなに歩かれへんよ」と言ったら、「私はこれ位いつも歩いているよ」と答えられた。「急に電話してごめんね」と言ったら、「その方がエエねん。ちょうど今日は雨やから外に出えへんし。いい天気やったらたいてい夕方からは外にでている。実にエエタイミングやったね」と言ってくれた。ほんと、そう。彼女はとても日に焼けている。毎日よく歩いているのだろう。日本の雪国の人みたいに見えた。

たった3時間の訪問だったけど、実のある時間だった。今回のサーバス訪問も、皆様のおかげで大成功！ ありがとね！！

2014.6.1

## イギリスの旅（8月2日～18日）London～Brighton～Bath～Lake District ～Edinburgh

交野市 K. K

12年ぶりのサーバス旅行、Londonの地下鉄に乗る私の胸は期待と不安でいっぱいでした。地図をたよりにホストNさんの家を見つけ、チャイムを鳴らした直後はそのドキドキがピークに達しましたが、「あなたがKね？待っていたのよ。」と笑顔とハグで迎えられ、一瞬のうちに緊張がとけていきました。その週末は12歳と7歳のお孫さんも一緒に、日本大好きという12歳の女の子が腕をふるったごちそうをいただき、「イギリスの食事は…」というイメージは一日目に覆されました。



2日目はお天気にも恵まれ、ホストの家族と一緒にロンドンを一日観光しました。「ボートに乗ったことがない！」というお孫さんも一緒にテムズ川下り。ビッグベンからロンドンブリッジまで、川沿いの景色を堪能しました。ロンドンの街を歩きながら、観光名所はもちろんその歴史やおすすめの場所などもたくさん教えていただき、普通の観光旅行ではできない貴重な経験をすることができました。

3日目はロンドンから鉄道に乗って一人でカンタベリーへ。大聖堂はとても荘厳で美しく、その近くを流れる小川はそれと対照的にとてもかわいく牧歌的でした。夜はホストの2人と一緒に夜のロンドン観光へ。その日は偶然1914年の第一次世界大戦からちょうど100年という節目の日であったために、ロンドンは街の光を消し、ビッグベンのすぐ隣の広場では夜の闇を貫くような光のアートを見ることができ3人で大興奮しました。帰り道に「うちのすぐ裏の道に日本の有名な作家が住んでいたんだよ。知っている人かな」とホストが言うので見に行くと、なんと夏目漱石の下宿先でした。「お札にもなった人で日本人なら誰でも知っています。」と簡単に説明すると、興味深く聞いて色々質問されました。

4日目は移動日。日中は荷物をV&A美術館に預けてロンドンを観光し、夕方次のホストSさん宅へ向かいました。同じロンドン郊外とは言え、シックで高級感ただようNさんのエリアとはまた違って、Sさん宅は移民や今どきの若者が集まる元気で活発なエリア。ロンドンの両方を体験することができ、偶然とは言えとても幸運に感じました。「歩くのが好きです。」と私が言うと、Sさんは早速「じゃあ一緒にブラックベリー摘みに行きましょう。」と夕方の散歩に出かけました。Sさん宅の周りはユダヤ人が多くすむエリアで、黒い服を着て黒いハットをかぶった典型的なユダヤの方がたくさん行き違い、異国情緒たっぷりでした。そのすぐ後にはイスラムの姿をする人たちと行き交い、Sさんは「この街には昔からユダヤ人もイスラム系も住んでいるが、みんな仲良く暮らしている。もめごとは起きていない。宗教の違いが戦争を起こすわけではない。今のガザで起きていることは絶対におかしい！」と熱く語っていました。



5日目はケンブリッジで1日観光。歴史ある大学のカレッジを散策しました。ケンブリッジで一番の見所はやはりパント(小船)でのケム川下り。まるでヴェネツィアのように美しい橋々をくぐりながら、緑美しい公園や壮麗な建築物を眺める小一時間は、あっというまの極上の時間でした。夕食の後には前の日に摘んできたベリーを

眺める小一時間は、あっというまの極上の時間でした。夕食の後には前の日に摘んできたベリーを

使ったSさんの手作りデザートを食べ、またまた夜の散歩へ。近くの公園で野生のキツネを2匹見たときは、「ロンドンの近くでもまだキツネが見れるんだ！」と大はしゃぎしてしまいました。

6日目は移動日。今度は大英博物館に荷物を預けてロンドンの一泊観光。夕方に次のホストNさんの住む **Brighton** へ向かいました。アーティストでもあるNさん宅には同じアーティスト仲間がニューヨークから仕事で滞在しており、にぎやかな夜となりました。

7日目はブライトンの町を観光。ブライトンはロンドンからわずか1時間で来れる海辺のリゾート地です。にぎやかな栈橋やおしゃれな雑貨屋さんなどを散策し、久しぶりに海を感じました。

8日目はNさんの仕事が休みだということで、Nさんの運転で白亜の断崖、セブン・シスターズへ連れて行っていただきました。予めガイドブックなどで見ていたものの、本物の断崖を目の前になるとそのスケールと美しさには圧倒されました。「小さなかawaiiい村や歴史のある町が見たい。」という私の要望を知ったNさんは、その後 **Lewes** という町へ案内してくれました。ルイスは日本のガイドブックには載っていませんが、古いお城と、お花と緑が最高にかawaiiい公園と、おしゃれなお店がたくさんある町で、大満足の日となりました。

9日目は移動日。鉄道で **Bath** に向かいました。ローマ時代に温泉の町として栄えたバースは歴史的な大きな建物が多く、とてもとてもかわいらしいステキな町でした。「歩くのが好きです。」と言うと、ホストのDさん夫妻は、運河沿いの景色のステキな散歩に連れて行ってくれました。途中の教会でスコーンやケーキと一緒にアフタヌーンティーも楽しみ、(イギリスだなあ)としみじみ感じました。

10日目はボランティアガイドによる2時間のバス散策ツアーに参加し、バースの歴史にたくさん触れることができました。「コッツウォルズではないけれど、同じように古い可愛い町があるから、そこでよければ案内してあげるよ。」というDさんのお言葉に甘えて、昼からはバスに乗って **Bradford-on-Avon** という田舎町へ。どこを見ても可愛い建物ばかりで、本当に絵本の中のような町並みに感激の連続でした。また運河沿いを散歩していると、ナローボートがロックで上下に垂直移動するところを見ることができました。(運河はどこも水平なので、高低差がある場合は水門を開け閉めして水を出し入れすることで、ボートを上下に移動させます。簡単に言うとボート専用のエレベーターみたいな装置がロックです。)



11日目は移動日。鉄道を乗り換えイングランド北西部の **Lake District** (湖水地方) へ向かいました。リヴァプールで途中下車し大ファンのビートルズのゆかりの地を訪ね、今すごい勢いで開発が進んでいる港湾沿いのアルバート・ドック周辺を散策し、イギリスの違う一面も見ることができました。ホストのSさんには「自力で家まで行きますよ。」とは言っていたのですが、列車の時刻を予め伝えていたので親切に車で駅まで迎えにきてくださいました。

12日目は今回の旅のお目当ての1つでもあった湖水地方の散策へ。もともとはSさんも一緒に行くはずだったのですが、数日前に足を痛めたらしくやむなく一人で出発。地図やお昼ごはん、たくさんの情報を頂いていたので、安心して歩き回ることができました。バスで **Keswick** に行き、まずは約2時間ほどかけて湖水地方をめぐるバスツアー。本当にどの景色もすばらしく、窓の外に広がる景色をただただうっとり眺めるだけで幸せな気分になりました。その後はいよいよダーヴェント湖を一周するトレッキング



に出発。4時間ほどかけてゆっくりと美しい湖水地方の自然を満喫しながら歩くことができ、極上の体験となりました。

13日目は出発まで少し時間があったので、Sさんが車でハドリアヌスの城壁に連れて行ってくださいました。ローマ帝国によって2世紀に建設されたという城壁はとても重厚で二千年の歴史を感じました。昼からはまたまた鉄道で、もう一軒の湖水地方のホストへ向かいました。大西洋沿いをぎりぎりに走る列車はとても眺めがよく、3時間弱の旅もまったく飽きることがありませんでした。次のホストのJさんも駅まで迎えに来てくださり、暖かい歓迎を受けました。

14日目は朝からバスに乗ってウィンダミアに向かい、そこからさらにバスを乗り継いで Grasmere へ。グラスミアはワーズワースゆかりの地で観光客も少しいますが、湖水地方の中では静かなところだと思います。緑の中にある静かなグラスミア湖の湖畔を一周するウォーキングコースを歩いたり、丘の上の方まで足を伸ばしたりして、湖水地方の素晴らしさを心行くまで味わうことができました。

15日目は移動日。わざわざ見送りに来てくださったJさん夫妻と駅でお別れしました。そして到着した旅の最終目的地 **Edinburgh**。予想以上に気温が低く、まるで冬のような気候にびっくりしました。8月のエディンバラは何と言ってもフェスティバルで、着いたとたん街中がお祭り騒ぎです。街角のあちこちにはストリートパフォーマーが次々と表れて道行く人を楽しませ、いたるところで劇やミニコンサート等が催されています。しかし何と言ってもエディンバラの魅力は歴史的な美しい町並みで、一瞬でこの街の虜になってしまったような気がしました。ホストのGさんに「今からパブで歌の集まりがあるんだけど、よかったら一緒に」と誘われ、お客さんで賑わうパブの一角で、スコットランド民謡を歌う20人ほどのグループに合流し、最後には一緒に歌まで歌っていました。

16日目はエディンバラ観光へ。オールドタウンの街並みは本当にどこを歩いても美しく可愛らしく、絵になる街だなあとしみじみ感じました。西のエディンバラ城に行った後、フェスティバルのパフォーマンスを楽しみながら東のホルロード公園へ向かい、往復1時間ほどかけて公園内の丘のてっぺんまで登りました。風がとても強くて少し苦労しましたが上からの景色は最高で、登った甲斐があったなあと感じました。観光名所とフェスティバル巡りであつという間に一日が過ぎ、最終日17日目はエディンバラの空港から日本へと帰国の途につきました。



旅を終えて思うのは、サーバスの旅はやはり格別だと言うことです。その地に暮らす人と出会って話をし、その国の文化や風習にじかに触れることができるからです。普通の旅行では見えないものや知りえないことを、自分で体験することができるのはサーバスだけではないでしょうか。また同時に、外見や文化が違って、お互いに認め合い理解し合うことができることが身をもって体感でき、自分の視野が広がったような気になります。

今回の旅でも、各ホストへのささやかな日本のお土産の他に、日本文化を象徴するような写真をたくさん持って行ってそれを見せながら日本を紹介したり、折り紙や筆ペンを持参して簡単なプレゼントをその場で作ってあげたり、簡単なひらがな・カタカナ・漢字表を見せて、日本語の表記について説明したり、5円玉の意味も説明してプレゼントしたり、自分のできる範囲で日本について話をしてきました。どのホストもたいへん喜んでくださり、答えられないようなつこんだ質問をたくさん浴びて困るほどでしたが、自分の国についても考える良いきっかけになりました。素晴らしい経験をさせていただいたことに心より感謝し、このレポートをもって報告とさせていただきます。ありがとうございました。

## シドニーを旅して

和泉市 A.K

8月、オーストラリア・シドニーへ行ってきました。DとSが5月、我が家に泊まってくれた時に、「いつでもいいから遊びにおいで!」と、誘ってもらい家族三人で出かけました。

今回の旅行で気がついたことを書きたいと思います。私たちは、4年前にケアンズに行き2回目となり、前回も今回も冬でした。オーストラリア連邦 Commonwealth of Australia は、イギリス連邦 Commonwealth of Nations ; イギリスを含め52か国あります。2018年には、ゴールドコーストで、連邦のオリンピックが開かれるそうです。車は、オートマの車が少なく、マニュアルが多かったように思います。また、今年9月から日本でも道路改正がありラウンドアバウトなる、交差点がたくさんありました。信号がなく一方向性、右側優先で慣れないといつ入るのが、わかりにくかったりもしましたが、利点はスピードを落とし安全に走行できるのだそうです。また、道路には、1p 2pの表示された駐車スペースがありました。1時間あたり\$2.50、券売機で駐車券を買い、それを車のダッシュボードの上に置きます。場所によって多少金額が変わります。また、カードも使えます。1pは1時間以内、2pは2時間以内で、時間によっては費用が要らないなど、細かくルールが決められてボードに表示されていました。歩行者信号のボタンを押すとすぐに、青色表示になり音が変わりせかされました。赤になるのも、メチャメチャ速いです。日本では、歩行者信号ボタンを押しても、なかなか変わらず、車優先のような気がします。ディーゼルがクリーンエネルギーとされ、スタンドにもよりますが、ガソリンより高いように思います。シドニー市内では車が多く渋滞もよく見ました。L、赤P、緑Pのマークをつけている数台の車を見かけ「これは、何を意味しているの?」と、聞きました。Lは教習所でなっている車、赤P免許とりたての車、緑Pは免許を取って1年以内の車だそうです。日本の若葉マークですね。シルバーマークも今後できるのでしょうか?物価はとて高いように思いました。コカ・コーラで\$2.80! だいたい280円です。飲み物も、空港はちょっと高いようでしたが一般的な価格で、いつも130円で飲み物を買っているような訳にはいかなかったです。自動販売機ではなく、ショーケースから取り出し支払いをしました。トイレはどこもステンレス製が多くあり耐久性はバッチリ!家庭用は陶器製でした。そして、掃除が行き届いており無料で使うことができました。日本の温かいウォシュレット付きトイレが懐かしかったです。お店を見ていると、父の日のギフトをあちらこちらで見かけました。9月第1日曜日だそうです。国によって違うとは知りませんでした。電車にも乗りましたが、往復(リターンチケット)を買うとちょっと安いそうです。アジアからの旅行者も多く、フィッシュマーケットでは、新鮮な魚とそれを調理してくれるお店がたくさんあり、観光客でごった返していました。私たちは、フィッシュアンドチップスを頼みました。二人分をシェアして食べました。おいしかったです。スーパーでは、お酒を一緒に売っていませんでした。買うときには、隣にあるリカーショップで購入します。州の法律で決められているようです。日本のお酒は、\$28です。



私たちは、Dの家に泊まりました。毎朝、Sのモーニングコールでお迎えに来てもらっていました。彼らは、ユダヤ教を信仰しており、毎週金曜日の日没前から安息日が始まり、土曜日の日没後まですべ



での労働が禁止されているそうです。夕食に招かれ、セロリスープ・アオパイヤサラダ・カレーライス・ラム・ポテト・ビーフ・。先日のマーケットで買った野菜も調理してありました。男性は、キッパと呼ばれる小さな帽子をかぶり、親族、知り合いが20人くらい集まり、親交を深めていた。安息日はヘブライ語で「シャバット」といい、7日に一度、労働を一切止め、心と身体を休息する日だそうです。Dが、旧約聖書の一文を読み上げ、ぶどう酒で乾杯、Sのお父さんが、パンに塩をつけてみんなに配り、それをもらって食べました。食事のすべては、コーシャと言われる、正しく調理されたものをスーパーで買ってきていました。

DとSは、私たちに、シドニーの町を時間の許す限り説明し案内してくれました。感謝しています。また、再会したいと思います。

### 3、トラベラー受入れ報告

#### F & L Niederlande

和泉市 A.K

6月23日(月)広島から高速バスで梅田着、その後、我が家へ来ました。午前1時から、オランダ戦を見ていました。

24日(火)午後、中学校の参観日でした。1年生の音楽会と2年生の美術を見ました。

Lさんは、美術の先生を目指して、勉強中です。その後、ノーリツのショールーム、コーナン、知り合いのお家におよばれました。くら寿司で食事をしました。初めてだそうです。

25日(水)午後、知り合いのお家で、お茶席をして頂き、兜もかぶって写真を撮りました。塾の様子を見せてもらい、近くのアリオにお買い物に行きました。夜は、お好み焼きを作って食べました。トラッドジャパンのビデオクリップを興味深く見ていました。

彼らは1200キロの四国88か所を徒歩で49日かけて回りました。アムステルダムで地図を買い、足が痛かったり、誰にも合わなかったり、雨が降ったりしたそうです。2人で励ましあいながらの旅だったようです。今年は1200年記念の年だそうです。

26日(木)朝、駅まで送って行きました。

日本に来て、5か月過ごしたそうです。日本の文化にとっても興味を持っていました。

2月に奈良で会って、再会出来たのは、とても良かったです。



#### 台湾からの7人家族

東大阪市 M.T

台湾からの光の家族7人を8月22,23,24日と受け入れました。22日の午後6時に駅で待ち合わせて我が家に。でも車には2回に分けて乗ってもらいました。

食事の用意は大忙しです、僕たちは先に済ませて彼らにテーブルを渡しました。彼らの子供たちは我が家の玩具で遊んでいました。子供たちが揉め事もなく仲良く遊んでいるのには感心しました。親の子供たちへのしつけが行き届いているようです。出発前にハプニ



ングが起こりました。 関空一台北の日本航空便の時間を勘違い、WEB でチェックインをしようとしたが出来ず、時間を見ると飛行機が出た後です。なんとか助けてくださいと言いますが少し困りました。PC で格安航空券を検索、peach が今日午後 4 時 10 分関空一台北便、7 席確保出来るのを見つけました。大急ぎで予約、4 人乗り軽自動車に僕も入れて 8 人を載せて駅まで、飛行機が出るまで 4 時間ほどあるので間に合いそうです。

僕たちも旅行中は何かと気をつけなくては。他人事ではありません。

## Big Surprise

京都市 H.T

我が家にブルガリアの T & J ご夫妻が 10 月 23 ~ 25 日来られ、京都での日々を楽しまれました。

奥さんの T さんが一般財団法人海外産業人材育成協会 [HIDA] (日本の官民パートナーシップによる技術協力機関で、開発途上国の産業人材を対象とした研修—受入・海外—および専門家派遣等を行っている。) が募集したエッセイに応募され、応募者 281 人の中の 10 人に



選ばれて招待され、日本での発表大会に出席されるのがメインの目的でした。我が家に来られた後、東京での発表大会に行かれました。そして、メールが来ました。何とびっくり!!! 上位 3 人が大賞を受賞された後、特別賞に T さんが選ばれたのです!!! 1 位です。ホント 凄い!!! その日は安倍首相のご婦人から表彰され、翌日は経済通産省大臣、宮沢洋一氏と会見されたそうです。

## 4、会員交流—北から南から—

### 宇宙の神秘を追いかけて

奈良市 U.K

(U さんが月食の写真を送って下さったので、U さんの宇宙を皆さんにご紹介したく、報告をお願いしました。)

先日の月食は自宅で主人が撮影しました。

皆既日食は 2 年前に 11 月ケアンズ(豪州)に行きました。日本でも同じ年の 5 月に金環日食が見られました。

2009 年に上海に行った時は大雨でした。その時、中国の別の場所で観測された番組が放映されました。

1999 年のトルコ・カスタモヌ(カッパドキアの近く)は家族 5 人で行ってバッチリ見えました。日食を見た後、後にサーバスを紹介してくれたベルギーの友人宅を訪れました。(友人は日本人、旦那さんはベルギー人) 帰国した日にトルコの大地震がありました。

1991 年は三女がまだ 2 歳で、おんぶひも持参でハワイ島のコナに行きました。欠けて行くのは見えたのに、皆既の瞬間だけ曇って残念でした。

日食は毎年どこかの地域で見えるのですが、日食帯は大抵砂漠とか僻地とかを通過しています。ホテルや人家のない所が観測条件が良いので、基本天文雑誌に掲載されるツアーで行きます。我が家はついでに観光もできるようなメジャーな所を選んでいますが、マニアの方たちは、聴いた事もないような国・



場所へも行かれます。天文事象は日時がはっきり決まっているので、その時は世界中から観測に来られます。少ないホテルに一時的に客が集中するので、旅行社も大変です。

あと、日食ではありませんが娘がバンクーバーへ留学していた時、娘に会いに行くついでにカナダ・イエローナイフでオーロラを見ました。最近日本人女性が行方不明になったと報道されている所です。次回は2年後かな？アメリカ中部で皆既日食の予定です。これは参加することになると思います。

#### 4、お知らせとお願い

支部長

\*今年度最後、支部総会は、既にお知らせしていますように、12月23日(火 祝日)、いつも通りの大阪弥生会館で5:00pmより行います。クリスマス前のひと時、楽団の方も懐かしい曲や楽しいクリスマスソングを演奏していただきます。皆でクリスマスムード溢れる大阪を楽しみたいと思います。多数の出席をお待ちしています

\*日本サーバスで作成作業に入っている電子ホストリストについて、皆様にご案内しています。返信がまだの方は返信をよろしくお願いします。

\*来年度は支部役員改選の年です。役員は支部長、副支部長、会計、会計監査、グループメール管理の5人です。皆さん、応募をよろしくお願いします。

\*来年の日本サーバス国内会議について、今きている情報は次の通りです。日時：2015年3月14日(土)午後13時30分から15日(日)12時。場所：福岡市西南大コミュニティセンター(予定) 14日夜、西南大で懇親会(予定)。詳しくは改めてご案内します。多数ご参加ください

\*3年に1回開催されるサーバス国際会議は2015年10月10日(土)~10月16日(金)、New ZealandのAotearoa(北島)で行われます。それと前後して同じくNew Zealandで国際サーバスのユースミーティングも開かれます。色んな会議に参加してサーバスを楽しんで下さい。

\*2014年度サーバスの年会費(一般3000円学生2000円休会者B1500円)をまだお納めいただいていない方は、下記の口座へ宜しくお願いします。

口座番号00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部